

<安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！>  
<守ろう！住環境維持のルールとペットマナー>

挨拶と花と緑の  
明るいニュータウン

# 白岡ニュータウン自治会だより

## 新春号

平成19年1月15日

白岡ニュータウン自治会発行

会長 辻野 正治



### 《新年挨拶》

会長 辻野 正治

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨春より自治会長を仰せつかり不慣れな中で、役員諸氏や各班長ならびに会員のご協力に支えられて先ずは順調な自治会運営がなされてきました。

ここにあらためて御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世の中はいじめに関する問題や数多くの自治体首長の不祥事などが毎日といって良いほど話題提供されました。今年こそ明るい話題で賑わって欲しいものです。

自治会において、今年度 “安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！”

“守ろう！住環境維持のルールとペットマナー” という2つのサブスローガンを掲げました。前者については、残念ながら侵入盗被害が発生しました。また、久喜警察署管内の犯罪発生度数が上昇していることも気になるところです。

地域ぐるみで犯罪を防止する姿勢をもっと煮詰めてゆきましょう。

後者の問題はペット講習会開催や2CHでの働きかけなどの努力を継続してきて徐々に改善されてはいますが、まだ充分満足なレベルではありません。

また、住環境維持に関しても美観のみならず防犯の観点からも改善が望まれる余地があるものと考えられます。



1丁目集会所

今年は総合地所（株）の努力で念願の1丁目集会所が使えるようになります。  
班長引継ぎ会などの大勢の人が集まる行事では、既存の集会所では手狭であったものがこれで解決されます。趣味の会合に、各種行事に大いに使いましょう。  
また、明年に迎える自治会創立20年の節目の年を控えて、今年はその準備を整えることとなります。役員・班長はもとより、会員からの有志を募って企画してゆきたいと考えますので、この面でもご協力をよろしくお願いします。

最後に会員の皆様にとって本年が幸多い年であることを祈念いたします。  
今後共よろしく願いいたします。

#### 《白岡町 ミニ歴史》

白岡町は昭和29年に町制が施行された当時は田園が広がる農村地域でしたが、昭和33年に東北本線の電化が進展し、スピードアップが行われ、昭和42年に県道大宮栗橋線が開通したことで、都市化が進みました。

昭和47年には東北自動車道が宇都宮まで開通し、昭和62年には国鉄最後の新駅となった「新白岡駅」が白岡ニュータウンの分譲開始にあわせて新設されました。ちなみに「宇都宮線」という名称は平成2年3月より公式に上野～黒磯駅間の東北本線の愛称として使われるようになったそうです。

白岡ニュータウンの土地買収がスタートしたのは昭和34年(なんと48年前です!)ということでした。

#### 《白岡 神社あれこれ》

昨年の10月号で高岩天満神社についてご紹介しましたが、白岡駅の北西1kmくらいのところにある「白岡八幡宮」をご存じですか？

鎌倉の鶴ヶ岡八幡、東京・門前仲町の富岡八幡と並ぶ日本三岡八幡宮として知られる白岡八幡宮があります。「八幡宮」は応神天皇を祭神とする神社の総称で、古くは武家の守護神として尊崇されました。縁起によれば嘉承2年(849年)慈覚大師円仁の草創とされ、八幡太郎義家が奥州征伐のときに戦勝祈願に参拝したとも伝えられ、建久6年(1195年)、源頼朝が鬼窪某に命じて社殿を造らせたという。(白岡町HP等より)

私も昔、正月に行ったことがあります。人気は少なく、そのような由緒ある神社とは感じませんでした。

皆さんも一度行かれては如何ですか。

(広報部/田路)



## 《平成18年青空市を終えて》

事業部 杉下 隆雄

12月3日自治会主催の青空市が、2丁目センタープラザおよび3丁目さくら公園で開催されました。

2丁目センタープラザにおいては、絵画、書道、短歌、生け花、盆栽等、趣味の作品が展示されました。いずれの作品も芸術性が高く、訪れた自治会員に感動を与えるものでした。

3丁目さくら公園においては、餅つき実演・販売、産地直送りんご販売、甘酒サービス、クリスマスリース製作、フリーマーケット、花苗の販売が行われました。りんごについては毎年好評で、今年は昨年より量を増やしましたが、販売開始15分程度で売り切れ、ご迷惑をおかけしました。

当日は晴天に恵まれたので、例年になく多くの自治会員に足を運んでいただき、センタープラザおよびさくら公園の会場はともに盛況でした。青空市は、夏の盆踊りとともに自治会員同士の交流の場です。今後とも、多くの自治会員に参加していただき、青空市がニュータウン恒例のイベントとして継続していくことを望みます。前日および当日の準備および片付け等に尽力してくださった、班長-役員の皆様

に紙面を借りて御礼申し上げます。



## 《1丁目集会所1月にオープン！》

白岡ニュータウンは、近い将来1400戸の大団地になる予定で、自治会においても、それにふさわしい規模の集会所をもつことを望んでおりましたが、いよいよ今年1月に新しい「1丁目集会所」がオープンするはこびとなりました。駅前通りに昨年夏から建設が始まっていたのを皆さんもご覧になっていたことと思います。

建物は総合地所（株）が建設し、竣工後、白岡町に寄贈され、自治会は町から管理・運営を委託されて利用が開始されることになっております。これによって、1丁目から3丁目までの各地区にそれぞれ集会所が整ったことになり、これらを使い分けることによって、住民の利便性が一層向上するものと期待されています。

「1丁目集会所」という呼称は通称で、正式には「アメニティーノースプラザ」といいます。最大の特徴は、広いフロアの集会場を有することです。その代わり一室のみで、小部屋などはありません。面積は、2、3丁目の会議室の約2倍に近い広さです。

3丁目集会所	サウス大会議室	約60㎡
2丁目集会所	センター大会議室	約58㎡
1丁目集会所	ノース集会場	約117㎡

この広い集会場を活かして、これまで収容人数の制約から実施が困難であった多人数の会議（班長会など）、各種の講演会や講習会、音楽演奏会、コーラス、ダンス、健康体操などのサークル活動や、趣味の作品の展示会等への場の提供など、いろいろな利用が考えられます。ぜひ、新しい発想の企画も立案いただいて、白岡ニュータウンの文化活動とコミュニティ活動の拠点の一つとしてご活用くださるようお願いいたします。なお、集会場は、可動式の衝立（上方はオープン）によって半分に仕切って使うこともできますので、比較的人数の少ない場合にもご利用いただけます。

利用料金については、平成19年度の通常総会において、「集会所管理規定」の改定が行われ、そのなかで正式に決定されることになっておりますが、それまでの暫定運用では、一例として、会員の一般利用（非営利B）の場合、次のような料金設定になっています。全体使用で、既設の会議室の1.5倍の料金、1/2使用で、既設の会議室と同じ料金です。

会場全体使用で、日中時間帯 1,500 円、夜間時間帯 2,200 円、  
1/2使用で、日中時間帯 1,000 円、夜間時間帯 1,500 円

利用者区分「非営利A」（悠友会、ボランティア活動などで役員会が承認したもの）の場合は、上記の半額の料金に設定されています。詳細については、すでに各戸に配布されている「白岡ニュータウン・集会所管理規定」（平成18年12月1日付）をご覧ください。



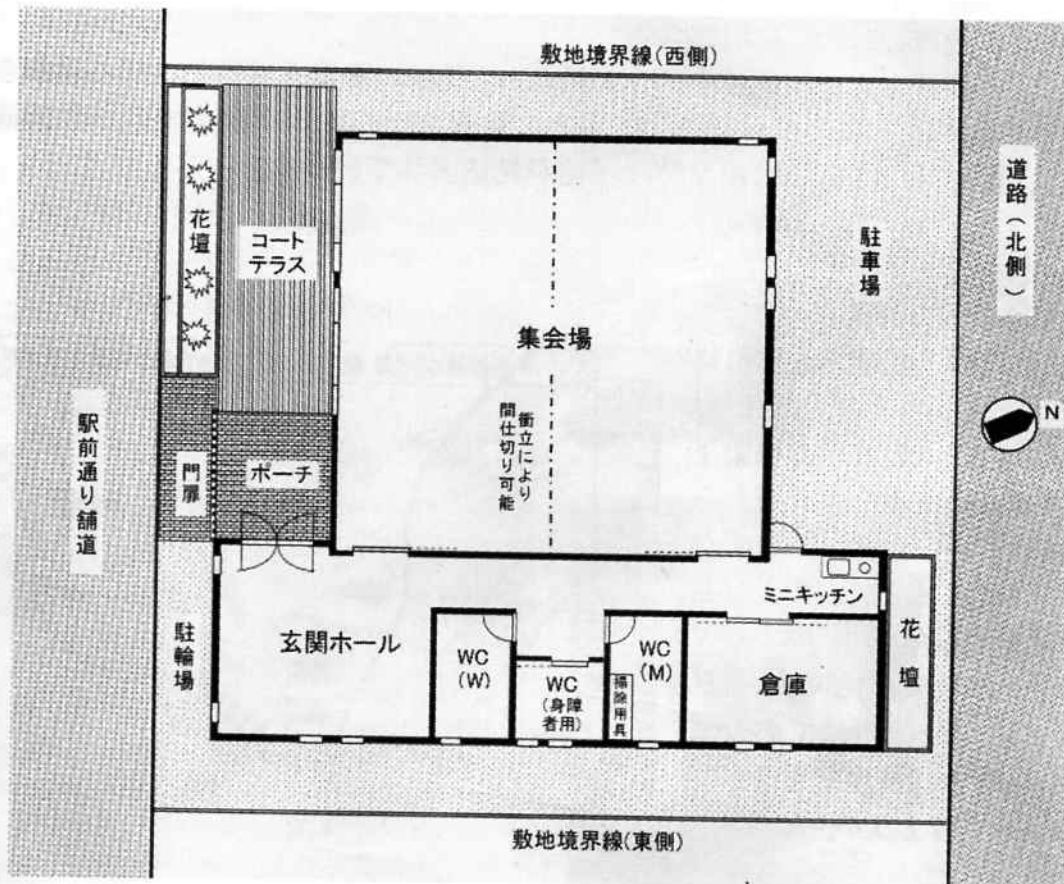
シンボルツリーとして総合地所より「高野槇」(こうやまき)が寄贈され、植樹されています。高野槇は日光東照宮のご神木であるとともに悠仁親王のお印として有名になりました。

今後、机、椅子等も順次整備されます。また、会議用器材として、液晶プロジェクタおよびパソコンも備える予定になっております。

1月15日より利用開始になりますが、ご利用の際は自治会事務局(93-5133)にお申し込み、ご相談ください。



(広報部/高橋)



(集会所平面図)

## 《圏央道を知ろう！》

現在、白岡町近辺で建設中の圏央道について取材してきました。

### 1) 圏央道ってこんな道

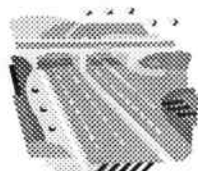
首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は都心から半径およそ 40 km～60 km の位置に計画されている延長約 300 km の自動車専用道路です。圏央道は首都圏 3 環状 9 放射ネットワークの一翼を担う道路で、都心から放射状に延びる東名、中央、関越、東北、常磐、東関東等の高速道路と接続するとともに、東京外郭環状道路や東京湾アクアライン（東京湾横断道路）と連携することによって、首都圏に流入する交通を分散し、流れを円滑にして交通渋滞の緩和を狙ったものです。また、圏央道が完成すると東は新東京国際空港のある成田をはじめ、筑波研究学園都市、西は川越、八王子、横浜などの中核都市同士が結ばれ、地域の産業を活性化させる役割を果たします。ちなみに、圏央道が完成しますと、久喜市から成田空港までの移動時間が 70 分、中央道までは 55 分と大幅な時間短縮が見込まれています。



### 2) 白岡周辺地域の計画

平成 18 年度は、菖蒲町～境町についての用地取得の推進、菖蒲 PA～久喜・白岡 JCT（仮称）の橋梁下部工の推進が行われ、東北道から茨城県境間では用地幅杭の設置が完了しています。また、圏央道事業について PR するための「圏央道インフォメーション久喜」が野牛地区東北道側道脇に設けられています。興味のある方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

白岡近郊の事業区間





### 3) プロジェクト目標

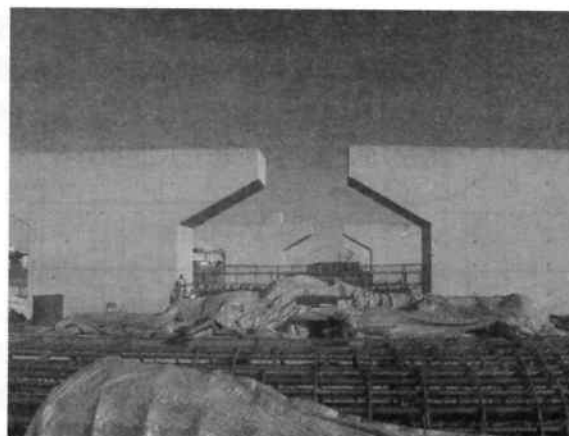
平成 28 年に圏央道全体の完成を目指し、工事が進められています。埼玉県内の開通目標は下記の通りです。

区間	開通目標年度
鶴ヶ島 JCT～川島 IC (7.9km)	平成 19 年度
川島 IC～桶川 IC (5.5 km)	平成 21 年度
桶川 IC～菖蒲白岡 IC (10.8km)	平成 24 年度
菖蒲白岡 IC～久喜白岡 JCT (3.3km)	平成 22 年度
久喜白岡 JCT～筑波 IC (48.2km)	平成 24 年度

### 4) 菖蒲白岡 IC について

白岡町内には国道 122 号線との交差点にインターチェンジができます。現在、周辺域は既に橋脚工事がなされており、着々と工事が進められています。また、インターチェンジ周辺より国道 122 号線バイパスの工事も同時に行われております。これにより、インターチェンジの利便性向上、渋滞の緩和が期待できます。

橋脚工事 (久喜菖蒲工業団地北側)



### 5) 久喜白岡 JCT について

東北自動車道側道を北上し久喜市役所方面の交差点付近にジャンクションができます。そこから備前堀川の北側に沿って圏央道は建設されていきます。現在は用地幅杭が既に打たれており、計画地を確認することができます。リフレの柱北側からはかなり近い位置を通りますが、約 1 km 離れており騒音に関しては気にならない程度と予想されます。高架下に側道ができると、JCT に容易に行くことができ、お出かけに大変便利になりそうです。

久喜白岡 JCT



### 6) 久喜白岡 JCT 近辺の土地利用について

この地域の利用については、大型ショッピングセンターができるとの噂がありますが、白岡役場に問い合わせた所、『今のところ予定はありません。』とのことでした。(残念でした)

(広報部/一瀬)

## 編集後記

(平成18年度広報部のメンバー全員からコメント)

ニュータウンに入居して16年、2回目の班長で広報担当となりました。毎年初詣に行く天満神社の取材では、宮司様に本殿の中を見せていただいたりお話をお伺いするなど、貴重な経験をさせていただくことができました。(山田)

毎年何気なく読み流してしまっていた広報誌でしたが、当然ながら、作り手の大変さを今回知り、より多くの会員の方に、目を通して頂ければなあと強く願っております。一年間ありがとうございました。(池田)

自治会だより担当となり、編集会議、企画・校正等他の委員の方々のご協力をいただき、微力ながらお手伝い出来たと思います。盆踊りでのヨーヨー販売、防災訓練等で皆さんとふれあうことが出来、良かったと思っています。(上條)

引越しをしてきて一年目に、班長をお引き受け致しました。大変不安もありましたが、お向かいの方に助けて頂き、心強く仕事が出来ました。広報部を始め、行事を通じて沢山の方とお知り合いになれて大変充実した一年になりました。(一瀬)

今年度も広報部の良きメンバーに恵まれ、皆さんの協力で充実した自治会だよりが発行できたと思います。引き続き自治会だより、2チャンネルをご愛顧お願いします。(田路)

特集記事の一遍を担当する機会にめぐり合いました。原稿を書いている間に意識したのは「みんなが誇りに思えるニュータウン」。取材していてこの街の魅力を改めて感じました。担当してなければ気づかなかっただろうな…(大島)

パソコンを新白岡駅前の市民講座で勉強中だったので、広報部2チャンネル担当をやれば、実用を兼ねて一石二鳥と、甘い考えでいたところ、担当する直前に市民講座が3月末で閉鎖となり、広報部2チャンネルに、たずさわった方々に迷惑をかけてしまいました。(須栗)

15年前の班長の時は妻に一切おまかせでした。今回、広報部に配属されてカメラ係に。カメラ歴は長いのですがデジカメは初めてで、説明書を読んでも年のせいかさっぱり理解できず、読んでも直ぐ忘れてしまいます。良い映像を撮ってお届けする責任重大でした。今後も勉強していきます。(藤門)

今年広報部ですと言われてあまり良い印象を持っていませんでした。でも1年間やらせて頂き、今まで判らなかったニュータウンのことや多くの方々を知り合いになることが出来て良かったと思っています。皆さんありがとうございました。(三ヶ尻)

せっかく広報編集や2CH入力に慣れてこられた班長さんが1年で交代されてしまうのは残念ですが、忙しいなか時間を割いて広報部に馳せ参じていただき、ありがとうございました。1年間、大変ご苦労様でした。(高橋)